



地上デジタル ハイビジョンチューナー

HVT-T100

取扱説明書





M-MANU200503-01

もくじ

はじめに
使ってみよう
設定する
困ったときには
付録

お使いになるまでの流れ

ご購入からお使いになるまでの流れを簡単に説明します。

設置する

リモコンを初期設定する

本製品を初期設定する

使う

本製品の特徴

本製品は、地上デジタル放送を受信するチューナーです。
ここでは、本製品の特徴をかんたんに紹介いたします。

地上デジタルハイビジョンチューナー

アナログTVの倍以上にもなる1125本の走査線数を持った放送をそのまま受信可能です。走査線数が多いため、細部までくっきりと表現され、臨場感豊かな映像をお楽しみいただけます。

PC用ディスプレイに対応

アナログRGB出力に対応しているため、PC用ディスプレイに接続し地上デジタル放送をお楽しみ頂けます（弊社ディスプレイ出力変換ケーブル「MA-D2A」が別途必要です。）

簡単設定機能

本製品の初期設定時のアンテナの設定を、簡単に行えるメニューを搭載しています。

環境に合わせて選べる豊富な出力端子を搭載

D端子/S端子/コンポジット端子を搭載しており、お手持ちのTVに合わせた最適な端子を選択して接続することが可能です。

D端子搭載

D端子付きのTVと接続すれば、高画質なハイビジョン番組をお楽しみ頂けます。
（D1/D2/D3/D4に対応）

CATVパススルー対応

周波数変換パススルー（VHF・MID・SHB・UHFの全帯域をカバー）に対応しています。

EPG（電子番組表）対応

デジタル放送では約1週間分の番組情報が放送データに加えて配信されています。
本製品は、この番組表を画面に表示し、番組表より視聴選択や視聴予約を行う事が可能です。

字幕放送、対応

字幕放送に対応しています。

データ放送、未対応

本製品では未対応となります。

双方向サービス、未対応

本製品では未対応となります。

必ずお守りください

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

それぞれの表示について



警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味



この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。



この記号は禁止の行為を告げるものです。



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。



異常が発生したら、すぐに使用を止める

そのまま使うと、火災・感電の原因となります。



電源プラグを抜く

煙が出たり、異常に熱かったり、変な臭いや音がしたら、電源プラグを抜く

異常が収まるのを確認してから、修理センターに修理をご依頼ください。
お客様による分解・修理などは、大変危険ですのでお止めください。



電源プラグを抜く

内部に異物や水が入ったり、落としたり、カバーを壊したら、電源プラグを抜く

異常がないことを確認してから、修理センターに修理をご依頼ください。
お客様による分解・修理などは、大変危険ですのでお止めください。



厳守

安定した場所におく

傾いた場所などの不安定な場所に置くと、倒れたり落ちたりして、けがの原因となります。



禁止

修理・分解・改造しない

火災・感電の原因となります。
●点検・修理は修理センターにご依頼ください。



禁止

雷がなったら、本製品やケーブルに触らない

感電の原因となります。



禁止

液体を入れたり、ぬらしたりしない

液体の入った容器を置いたり、ペットが機器の上に乗らないようにしてください。液体が中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

電池を乳幼児の手が届く場所におかない

電池を飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となります。
● 万一、電池を飲み込んでしまった場合は、ただちに医師に相談してください。

AC アダプターについて


厳守

必ず添付の AC アダプターを使う

他の AC アダプターを使うと、火災や感電の原因となる場合があります。

- 添付の AC アダプターは本製品専用です。他の機器につないで使わないでください。


禁止

物を載せたり、かぶせたりしない

熱がこもり、火災の原因となる場合があります。


禁止

保温・保湿性の高いものの近くで使わない

（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
火災・感電の原因となる場合があります。


禁止

ケーブル部・アダプター部を壊さない

痛んだまま使っていると、感電・ショート・火災の原因となります。
以下のような事をしないでください。

・傷つける	・加工する
・熱器具に近づける	・無理に曲げる
・ねじる	・引っ張る
・重いものを載せる	・束ねる


厳守

電源プラグのほこりは定期的に掃除する

湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。


厳守

電源プラグは根本までしっかり差し込む

不完全に差し込むと、感電や発熱による火災の原因となります。

- 痛んだプラグ・ゆるんだ電源コンセントは使わないでください。


厳守

抜くときは、AC アダプターを持って抜く

ケーブル部分を引っ張ると、破損します。それにより、感電･ショート･火災の原因となります。


禁止

電源コンセントや配線機器の定格を超える使い方や交流１００V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。


厳守

本製品を移動するときは、先につないだ AC アダプターを抜く

AC アダプターを抜かずに移動しようとすると、AC アダプターや接続した機器が破損し、火災や感電の原因となる場合があります。

- AC アダプター、アンテナ線、テレビや映像機器などのケーブルを外してください。


電源プラグを抜く

長期間使わないときは､AC アダプターを抜く

AC アダプターを長時間接続していると、電力消費・発熱します。
また、電源プラグにほこりがたまり、火災や感電の原因となる場合があります。


禁止

ぬれた手で AC アダプターを触らない

感電の原因となります。


厳守

AC アダプターを抜くときは、先に電源コンセント側から抜く

感電の原因となります。


禁止

電源コンセントの周りに物を置かない

AC アダプターが抜けやすくなります。

注意


禁止

湿気やほこりの多いところ、湯気・油煙のあたるようなところに置かない

調理台や加湿器などのそばに置くと、火災や感電の原因となる場合があります。


禁止

上に乗らない

倒れたり、壊れたりして、けがの原因となる場合があります。

- 特にお子様にはご注意ください。


禁止

上に重いものを置かない

落下してけがの原因となる場合があります。


禁止

通風孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

- テレビ台などに設置する場合、上側に 6cm 以上、左右と後ろ側に 10cm 以上の間隔を空けてください。
- 押入などの風通しの悪いところに設置しないでください。
- 布を掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- 逆さまにしたりせず、正しく設置してください。


販売店にご相談ください

アンテナ工事には、技術と経験が必要

- 送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れて送配電線に触れた場合、感電の原因となる場合があります。
- 特に受信用アンテナは強風の影響を受けやすいので、しっかりと取り付けてください。

電池について


注意

電池を入れるときは、＋と－の向きに注意する

リモコンの表示通り正しく入れてください。間違えますと、電池の破裂・液漏れにより、火災・けが・周囲の汚損の原因となる場合があります。


禁止

電池の液が漏れたら、素手で触らない

電池の液が目に入ったり、体や衣服に付くと失明・けが・やけどの原因となる場合があります。

- 万一、液漏れした場合は、乾いた布などで電池ケースと周りをよく拭いてから、新しい電池を入れてください。


禁止

新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使わない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けが・周囲の汚損の原因となる場合があります。


禁止

電池に以下のようなことをしない

液が漏れて、けが・やけどの原因となる場合があります。

・くぎなどを刺さない
・分解・改造をしない
・車中に放置しない
・火の中に入れない
・加熱しない
・ぬらさない
・60℃以上の場所に放置しない
・定格条件以外では使わない
・充電しない
・金属と一緒に持ち歩かない
・電子レンジ、オーブン、高圧容器に入れない
・＋と－を金属類やはんだでつなげない
・投げる、ハンマーで叩くなどの強い衝撃を加えない
・容量、種類、銘柄の違う電池を混ぜて使わない

使用上のご注意

● 本製品と同じ周波数帯域を用いる機器は離してお使いください。

本製品は 90MHz ～ 770MHz の周波数帯域を使っています。
携帯電話などの同じ周波数帯域を用いる機器を、本製品やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像や音声に不具合が生じる場合があります。
また、アンテナをつなぐ際に、アンテナケーブル・分配器・分波器などの機器を使う場合は、共聴用のものをご用意ください。

● ファームウェアの更新について

弊社では随時ファームウェアのバージョンアップを行っております。
常に最新のファームウェアで弊社サービスをお楽しみいただけますよう、バージョンアップ作業に一定のお時間が伴いますことをご理解ください。

● 動かない映像を長時間映さないでください。

本製品につないだテレビやプロジェクターに映像が焼き付き、陰のように画面に残るおそれがあります。

あらかじめご承知ください

- 本製品は、（社）電波産業界 (ARIB) の策定規格に基づいた仕様となります。
  将来規格に変更があった場合は、事前の予告なく本製品の仕様を変更することがあります。
- 同梱されている B-CAS カードは、地上デジタル放送を視聴していただくための大切なカードです。ご使用の際はカードが添付されている紙面の内容を必ず理解した上で、カードを取り出してください。
  B-CAS カードの取り扱い、保管はお客様ご自身の責任となります。万一、破損、故障、紛失した場合は、B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。
- 万一、本製品の不具合により録画できなかった場合の補償についてはご容赦ください。
- メールなどのデジタル放送に関する情報は、本製品が記録します。万一、本製品の不具合によってこれらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- DVD レコーダーやビデオデッキなどで録画・録音を行ったものは、個人鑑賞のみお楽しみいただけます。著作権法上権利者に無断で使用する事は禁止されています。
- 地上デジタル放送はコピー制御されています。制御に関する一般的な内容は（社）デジタル放送推進協会 (Dpa) のホームページをご覧ください。
  http://www.dpa.or.jp/

MEMO

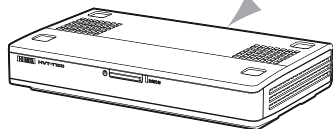
はじめに

箱の中には

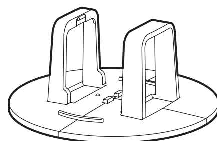
箱の中には以下のものが入っています。
☐ にチェックを付けながら、ご確認ください。

☐ **本体（1台）**

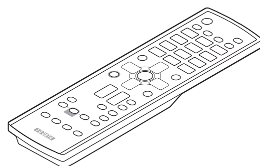
底面に貼付のシールにシリアル番号が印刷されています。



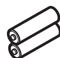
☐ **スタンド（1個）**



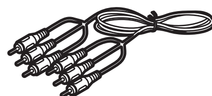
☐ **リモコン（1個）**



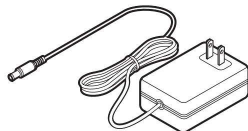
☐ **リモコン用乾電池（2個）［単四形乾電池：動作確認用］**



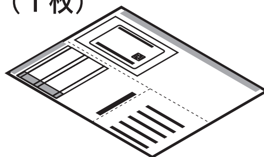
☐ **AVケーブル（1本）［約1.8m］**



☐ **ACアダプター（1個）**



☐ **地上デジタル専用 B-CASカード契約書（1枚）**



☑ **取扱説明書（1冊）［本書］**

☐ **保証書（1枚）**

※ 電池の廃棄にあたっては、地方自治体の条件または規則に従ってください。
※ 電池を使い切ったときや、長時間使わないときは取り出してください。
　電池を入れたままにしておくと、過放電により液漏れを起こすおそれがあります。
※ 箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。
※ イラストは、実物と若干異なる場合があります。

設置する

本製品をご家庭に設置します。
必要な物と各手順をご確認ください。

■ 必要な物

本製品の置き方（１２ページ）

・スタンド（添付：縦置き用）

アンテナとつなぐ（１３ページ）

・アンテナケーブル（別途用意）

テレビとつなぐ（１４ページ）

・テレビとつなぐためのケーブル
- AV ケーブル（添付）
- S ビデオケーブル（別途用意）
- D 端子ケーブル（別途用意）など

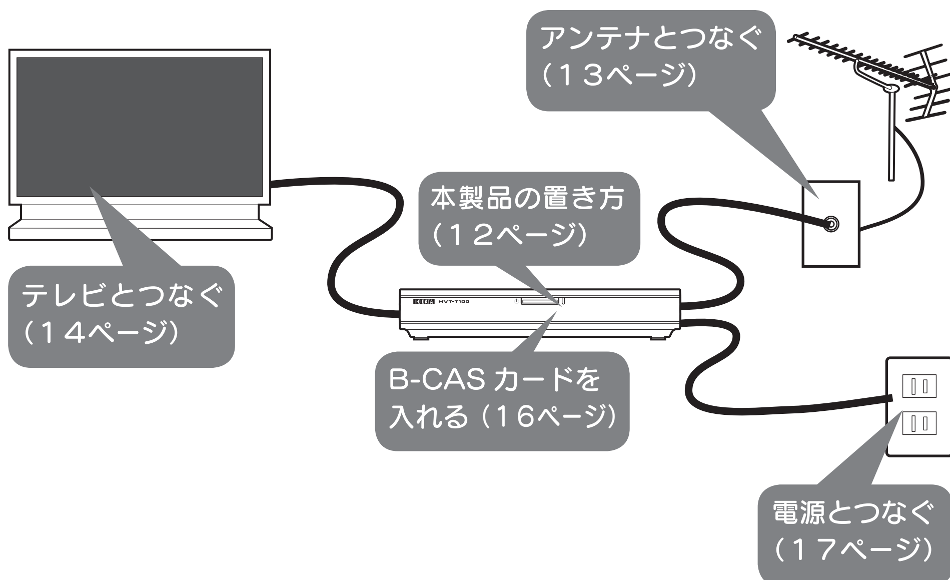
B-CAS カードを入れる（１６ページ）

・B-CAS カード（添付）

電源とつなぐ（１７ページ）

・AC アダプター（添付）

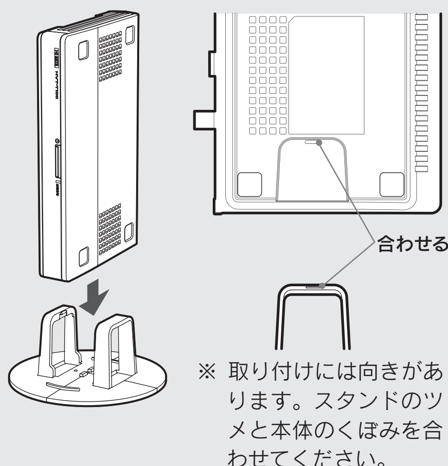
■ 全体図



■ 本製品の置き方

縦置き

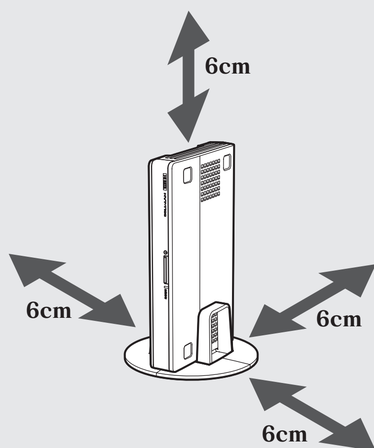
添付のスタンドを使って、本製品を縦置きすることができます。



※ 取り付けには向きがあります。スタンドのツメと本体のくぼみを合わせてください。

本製品の周囲を空けてください

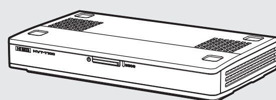
本製品の上左右背面に 6cm 以上の間隔を空けてください。



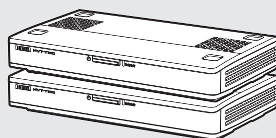
横置き（段積み）

本製品を横置きすることができます。
また、本製品同士を2台まで積み重ねることができます。

1台横置きの場合

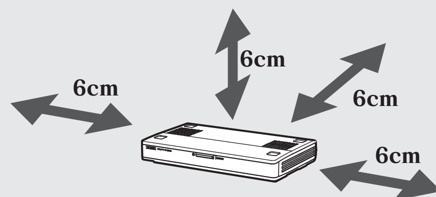


2台積み重ねの場合



本製品の周囲を空けてください

本製品の上左右背面に 6cm 以上の間隔を空けてください。
積み重ねている場合は、積み重ねた本製品を1台の本製品として間隔を空けてください。

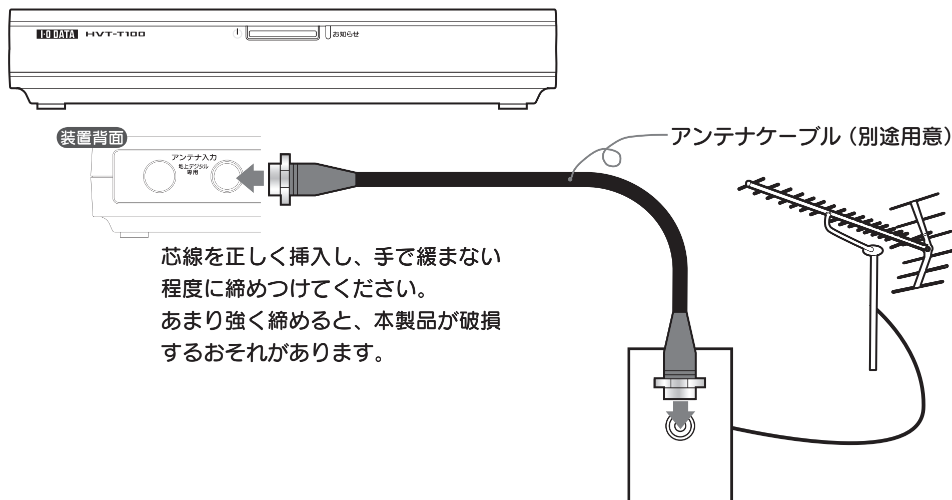


積み重ねるときは

開放された場所に置いてください。
テレビ台などの密閉される場所には置かないでください。

■ アンテナとつなぐ

アンテナ入力端子と地上デジタルアンテナをアンテナケーブルでつなぎます。



アンテナとつなぐときは、本製品を電源コンセントから抜いてください。

テレビアンテナの設置

地上デジタル放送の受信には、送信塔の方向に地上デジタル放送受信用アンテナを設置する必要があります。

お使いのテレビアンテナで受信できない場合

市販の地上デジタル放送用 UHF アンテナ、ブースター、混合機などを用意することをご検討ください。

本製品を設置される地域（場所）が地上デジタル放送を視聴可能かどうかは、最寄りの電器販売店や「総務省　地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター」(TEL　0570-07-0101）に問い合わせてください。

※ ビルの陰などの受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できないことがあります。

ケーブルテレビとつなぐ

ケーブルテレビ会社からの配信方法が「パススルー方式」の場合、本製品で受信可能です。

受信には使用機器ごとにケーブルテレビ会社との契約が必要です。詳しくは、ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

また、ケーブルテレビを見るには、専用チューナーにつなぐ必要がある場合があります。

詳しくは、ケーブルテレビ専用チューナーの取扱説明書をご覧ください。

テレビとつなぐ



テレビとつなぐときは、本製品を電源コンセントから抜いてください。

AVケーブルでつなぐ

Sビデオケーブルと音声ケーブルでつなぐ

D端子ケーブルと音声ケーブルでつなぐ

テレビの端子や接続については…

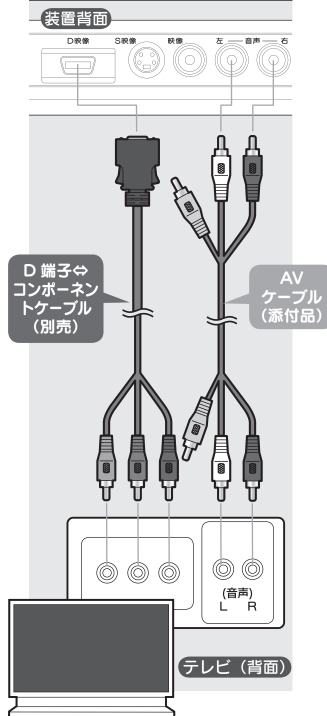
テレビの取扱説明書をご覧ください。

映像機器とつなぐ

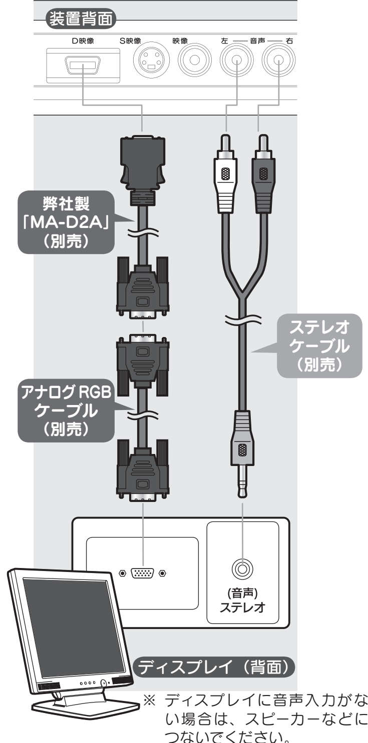
テレビの代わりにビデオなどの映像機器につなぐこともできます。
テレビのコネクターを映像機器のコネクターと読み替えてつないでください。

※ 著作権保護された番組を映像機器に送った場合、著作権保護のための機能が働き、画質が劣化する／視聴できない／録画できないなどの問題が起こることがあります。著作権保護された番組は、テレビと直接つないでご覧ください。

D 端子⇔コンポーネントケーブルと音声ケーブルでつなぐ



パソコンのディスプレイとつなぐ

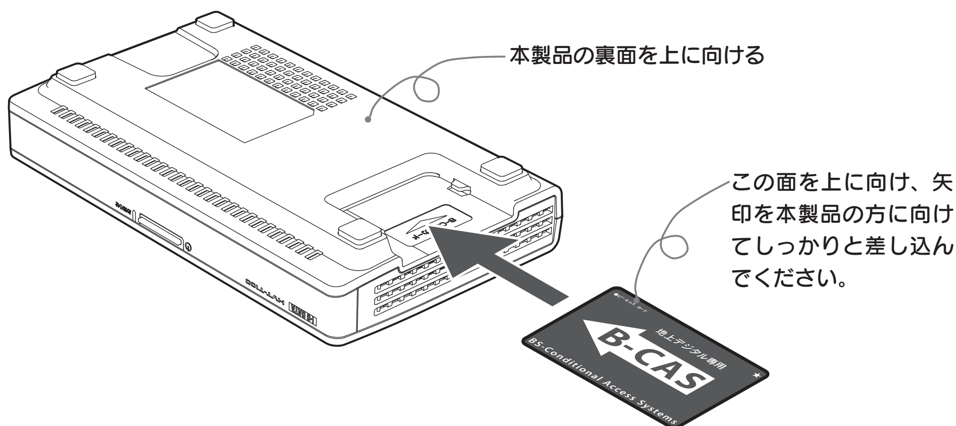


アナログ RGB で出力した場合

ARIB の規格により、有効画素数は 52 万画素以下になります。接続テレビがワイド設定なら出力解像度は 800 × 600、ノーマル設定なら出力解像度は 1024 × 768 で映像は 960 × 540 または 832 × 624 になります。

■ B-CAS カードを入れる

⚠ B-CAS カードを入れるときは、本製品を電源コンセントから抜いてください。



B-CAS カードを取り出す際に

同梱されている B-CAS カードは、地上デジタル放送を視聴していただくための大切なカードです。ご使用の際はカードが添付されている紙面の内容を必ず理解した上で、カードを取り出してください。

B-CAS カードについて

地上デジタル放送は、放送番組の著作権保護の目的で 1 回だけ録画が可能となる仕組みの制御信号を加えて配信されています。B-CAS カードは、この制御信号を有効にするために必要です。

B-CAS カードは、本製品の挿入口に正しい方向で差し込んでください

間違った方向で差し込んだ場合や、無理矢理押し込んだ場合は破損・故障の原因となります。

B-CAS カードの取り扱い

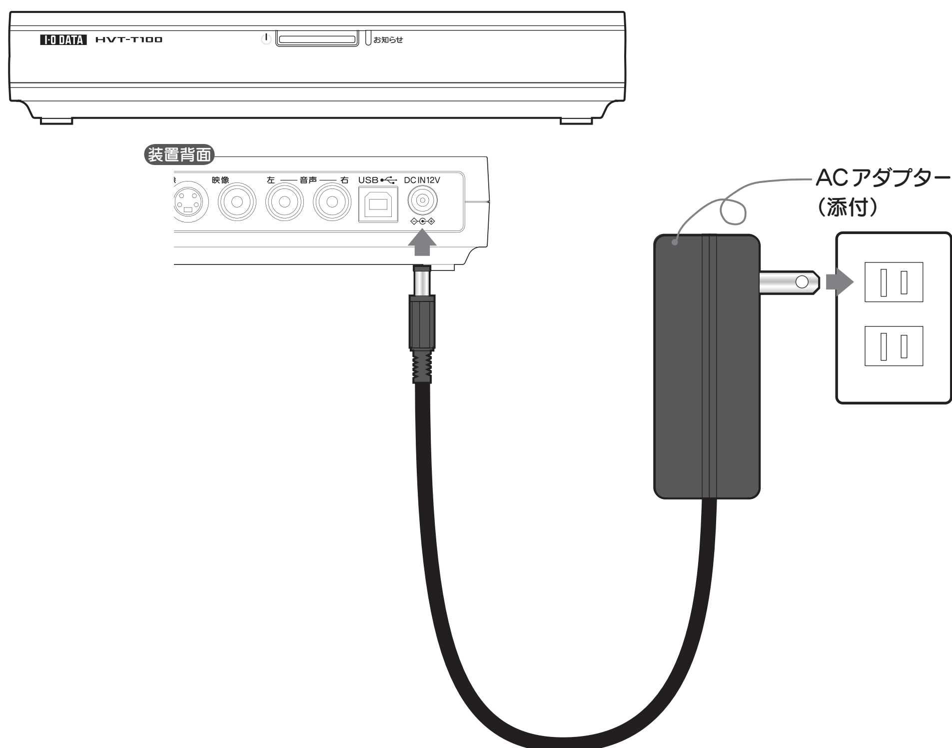
カードには IC（集積回路）が搭載されています。ていねいに扱ってください。

B-CAS カードについてのお問い合わせ

こちらにお願いいたします。

株式会社ビーエス・コンディショナルアクセス・システムズ・カスタマーセンター
電話：0570－000－250（IP 電話からは045－680－2868）

■ 電源とつなぐ



⚠ **ACアダプターは、必ず奥まで差し込んでください。**

リモコンを初期設定する

リモコンに電池を入れ、お使いのテレビに合わせて設定します。

■ 電池をセットする



添付の乾電池について

添付の単四形乾電池は動作確認用のものです。
お使いの際は、新しい単四形乾電池を別途ご用意ください。

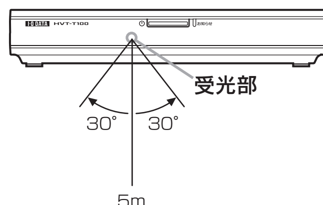
乾電池の取り扱い

以下のことにご注意ください。リモコンの動作不良や故障の原因となります。

- 極性（⊕ ⊖）を逆にしない
- 指定された乾電池（単四形）以外を使わない
- 交換の際は、必ず二本とも新しい電池に交換する

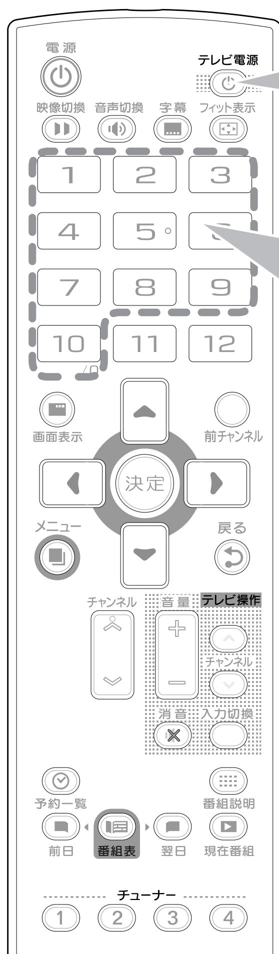
リモコンの操作

リモコン受光部から 5m、左右 30°以内で操作してください。



■ テレビを操作できるようにする

本リモコンは、お使いのテレビの基本的な操作をすることができます。
（電源の入／切、音量調整、チャンネル切換、入力の切換）
【はじめて本製品を設置したとき】や【テレビを買い換えたとき】には、以下の設定を行ってください。



Step 1

① 電源ボタン（テレビ）を押したままにします。

② お使いのテレビにあった番号を入力します。

メーカー名	入力する番号	メーカー名	入力する番号
I-O DATA	000	東芝	015 ～ 017
AIWA	001 ～ 003	パイオニア	022 ～ 023
Wincom	050/051	byd:sign	049
NEC	018	Panasonic	032/033
LG	036 ～ 038	日立	025/026
Samsung	041 ～ 048	Philips	039/040
三洋	004 ～ 008	富士通	027
JVC	019 ～ 021	FUNAI	028 ～ 031
SHARP	009 ～ 011	三菱	034/035
Sony	012 ～ 014		

※ メーカー名はあいうえお順です。
※ 上表にないテレビは、本製品のリモコンで操作できません。
※ この設定はリモコンをテレビに向けて行う必要はありません。
※ 複数の番号があるメーカーでは、前の番号からお試しください。動作しない場合は、次の番号をお試しください。
※ 一部、動作しない機器もあります。動作しない場合は、お使いのテレビに付属のリモコンをお使いください。
※ テレビを買い換えた際は、買い換え後のテレビに併せて、もう一度設定してください。
※ 初期値は、「000」（アイ・オー・データ機器）が設定されています。

▼

Step 2

お使いのテレビを操作できるかご確認ください。

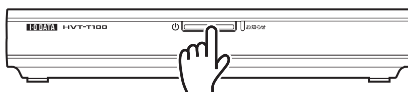
本製品を初期設定する

本製品を使えるようにするために必要な設定を行います。

チャンネルの設定

1 リモコンか本体の電源ボタンを押します。

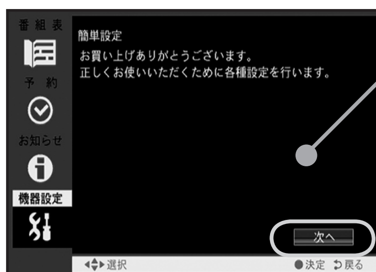




複数の本製品を使う場合

すでに使っている本製品は、本体の電源ボタンで電源状態を［待機］にしてください。

2 ［次へ］を選びます。



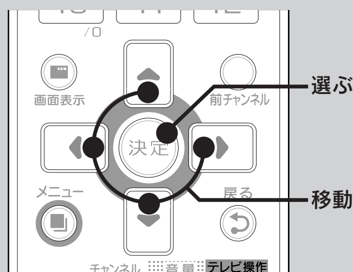
簡単設定の開始画面

この画面が表示されない

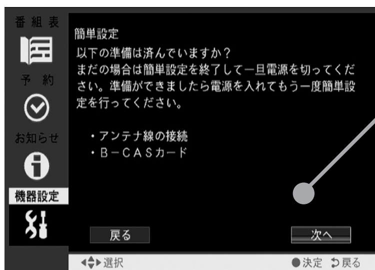
リモコンの［メニュー］ボタンを押し、［機器設定］→［簡単設定］を選んでください。

操作の仕方

リモコンのカーソルボタンで項目に移動し、［決定］ボタンで選んでください。



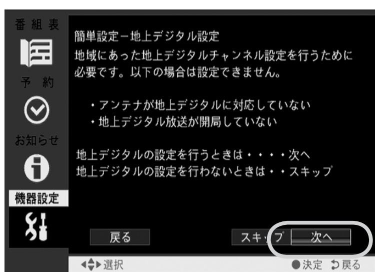
3 ［次へ］を選びます。



準備の確認画面

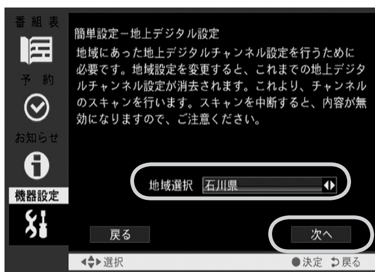
準備が終わっていない
【設置する】（１１ページ）をご覧ください。

4 ［次へ］を選びます。

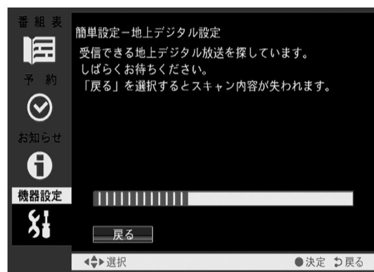


地上デジタル設定の開始画面

5 ［地域選択］を選び、地域を設定します。その後、［次へ］を選びます。



地域選択画面



受信できるチャンネルを検索します。
しばらくお待ちください。

6 チャンネル内容を確認し、［次へ］を選びます。

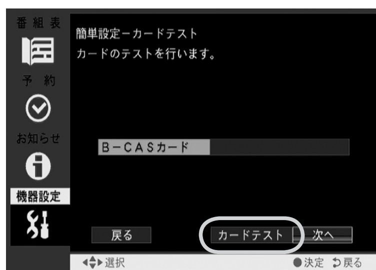


受信チャンネル確認画面

正しくチャンネルが表示されない

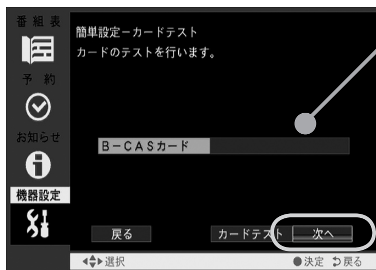
【視聴できるはずの放送局が登録されない】（46ページ）をご覧ください。

7 ［カードテスト］を選びます。



カードテスト画面

8 「正常に終了しました」と表示されたことを確認し、［次へ］を選びます。

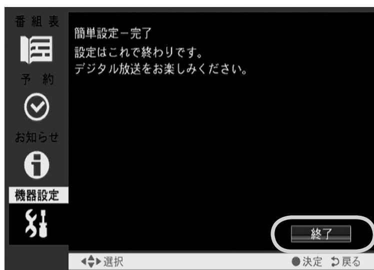


カードテスト完了画面

「接続に失敗しました」と表示された

【カードテストで「接続に失敗しました」と表示された】（49ページ）をご覧ください。

9 ［終了］を選びます。



簡単設定の完了画面

これでチャンネルの設定は終わりです。
複数台の本製品を使う場合は、続いて【複数台を使うための設定】を行ってください。

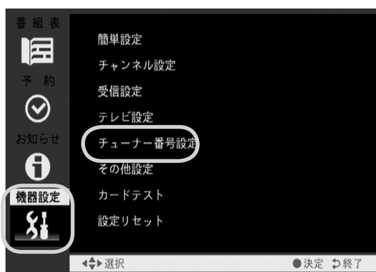
複数台を使うための設定

操作できる本体を切り換えることで、最大４台まで同時にお使いいただけます。購入したままの設定では、リモコンの操作で全ての本製品が反応してしまいます。それぞれに別の番号を振り分け、リモコン操作が個別に行えるようにします。

1 リモコンの［メニュー］ボタンを押します。



2 ［機器設定］→［チューナー番号設定］を選びます。



機器設定画面

3 他の本製品と重ならないように、チューナー番号を選びます。その後、［設定］を選びます。

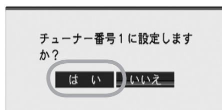


チューナー番号設定画面

チューナー番号の初期設定

初期設定は「1」になっています。

4 ［はい］を選びます。



確認画面

リモコンで操作ができない

リモコンと本体のチューナー番号を揃える必要があります。
リモコンのチューナーボタンを２秒以上押し、チューナー番号を切り換えてください。

これで複数台を使うための設定は終わりです。
本製品を使ってみてください。

使ってみよう

電源を入れる

電源を入れる

リモコンか本体の電源ボタンを押すことで電源を入れられます。
もう一度同じ操作をすることで、電源状態を［待機］にできます。

リモコンで操作ができない

リモコンと本体のチューナー番号を揃える必要があります。
リモコンのチューナーボタンを２秒以上押し、チューナー番号を切り換えてください。

電源状態について

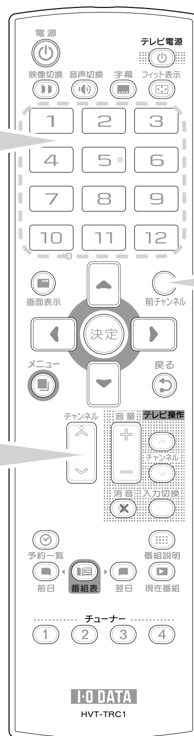
電源状態には３つの種類があります。

電源状態	説明
切	本製品が電源コンセントにつながっていない状態です。 この状態から電源コンセントにつなぐと、電源状態は［待機］になります。
入	本製品を電源コンセントにつなぎ、［電源］ボタンを押した状態です。 地上デジタル放送を視聴できます。 ※ この状態で電源コンセントから本製品を抜かないでください。 電源状態を［待機］にしてから、本製品を抜いてください。
待機	電源状態［入］で［電源］ボタンを押した状態です。 予約があったり、［電源］ボタンが押されれば、電源状態［入］に移行します。

チャンネルの切り換え

リモコンで直接切り換える

ボタンに割り振られたチャンネルに切り換えます。



１つ前に視聴していたチャンネルに切り換えます。

前後のチャンネルに切り換えます。

番組表で切り換える

本製品では、地上デジタル放送の番組表を使ってチャンネルを切り換えることができます。
詳しくは、【番組表を見る】（２８ページ）をご覧ください。

番組表を見る

本製品では、１週間分の地上デジタル放送の番組表を見ることができます。

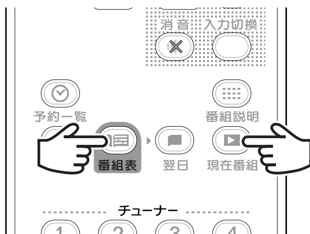
番組表の種類

番組表には２種類あります。

種類	説明
現在番組	現在放送中の番組と、次に放送される番組を表示します。
番組表 **（週間番組）**	約１週間分の番組を表示します。

番組表の見方

1 ［現在番組］ボタンか［番組表］ボタンを押します。



2 番組表を操作します。

番組を選ぶ	カーソルボタンで番組を移動し、［決定］ボタンで選びます。 選ばれた番組が放送中なら、その番組を視聴できます。 放送前なら、その番組を視聴予約できます。 ※「現在番組」では左右にカーソルを動かすことで、「現在放送されている番組」と「次に放送される番組」を切り換えられます。 ※予約画面については、３３ページをご覧ください。
番組の情報を見る	カーソルボタンで番組を移動し、［番組説明］ボタンを押します。 閉じたいときは、もう一度［番組説明］ボタンを押します。
１日分番組表を移動する（「番組表」のみ）	［前日］［翌日］ボタンを押します。 ※過去の番組を表示することはできません。 ※「データ取得中」の場合は、表示切り換えに時間が掛かります。

番組情報を見る

地上デジタル放送では、番組の情報が配信されています。

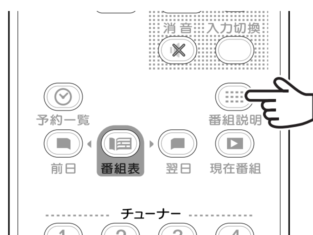
視聴している番組の番組情報を見る

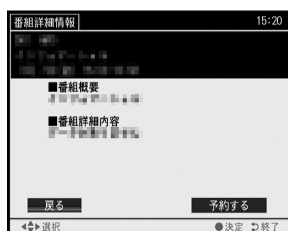


1 番組を視聴します。

2 ［番組説明］ボタンを押します。

番組情報を閉じたいときは、もう一度［番組説明］ボタンを押します。





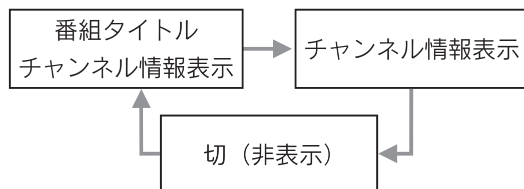
番組表で番組情報を見る

詳しくは、【番組表を見る】（２８ページ）をご覧ください。

画面の表示や音声を切り換える

画面表示を切り換える

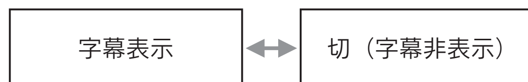
［画面表示］ボタンを押すたびに以下のようになります。





字幕表示を切り換える

［字幕］ボタンを押すたびに以下のようになります。





※ 字幕情報を持たない番組では、字幕は表示されません。
※ 第 1 言語⇔第 2 言語の切り替えは、メニューの［機器設定］－［その他設定］で行います。

マルチビューを切り換える

［映像切換］ボタンを押すと、映像を切り換えます。

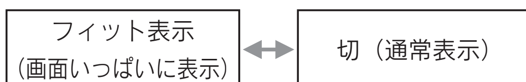
※ マルチビュー放送でない番組では、映像は切り換えられません。



画面サイズを切り換える

［フィット表示］ボタンを押すたびに以下のようになります。





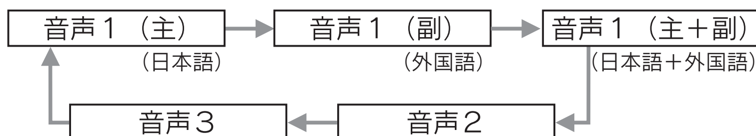
※ 配信データにより、すでに 16:9 の信号となっている場合は、機能しません。

音声を切り換える

［音声切換］ボタンを押すと、音声を切り換えます。
［音声1］→［音声2］→［音声3］→［音声1］…の順に切り換えます。
二重音声がある場合は、［主音声］→［副音声］→［主 / 副］の順に切り換えます。



例：音声 1 が二重音声のとき



※ 音声多重でない番組では、音声を切り換えられません。

視聴予約する

番組を予約して、視聴することができます。

視聴予約について

時刻が来ると、指定した番組を視聴する予約です。
本製品の電源状態が「待機」でも、自動的に「入」に切り換えられます。

予約時刻 15 秒前になりますと、「まもなく予約番組を開始します」とメッセージが表示されます。
予約を実行したくない場合は、チャンネルを変える・カーソルボタンを押すなどのリモコン操作を行ってください。予約が取り消されます。

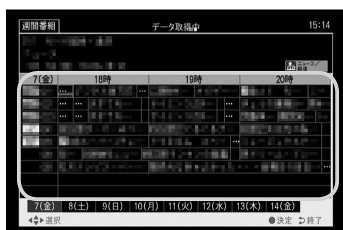
番組表で視聴予約する

1 ［番組表］ボタンを押します。



2 視聴予約する番組を選びます。

※ 現在放送中の番組は予約できません。

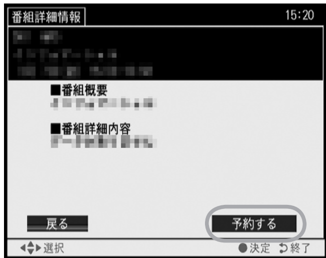


番組表

はじめに
使ってみよう
設定する
困ったときには
付録

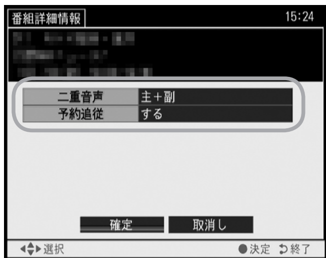
視聴予約する（続き）

3 内容を確認し、［予約する］を選びます。



番組詳細情報

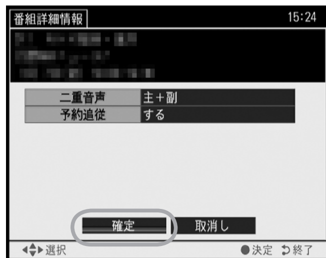
4 音声や予約追従に関する設定をします。



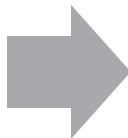
予約設定画面

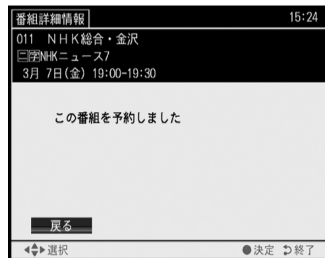
設定項目	説明
音声	音声信号が複数ある場合にのみ表示されます。 聴く音声を選べます。（日本語/英語など）
二重音声	二重音声がある場合にのみ表示されます。 ［主音声］［副音声］［主＋副］の中から選べます。
予約追従	視聴予約した番組の放送時間が変更された場合、放送で配信された情報に基づき、正しい時刻に視聴できます。

5 ［確定］を選びます。



予約設定画面





予約完了画面

視聴予約ができました。
予約の内容は、メニューの［予約］→［予約一覧］で確認できます。

予約時刻 15 秒前に「まもなく予約番組を開始します」とメッセージが表示されます。

日時を指定して視聴予約する

1 ［メニュー］ボタンを押します。



視聴予約する（続き）

2 ［予約］→［予約一覧］の順に選びます。



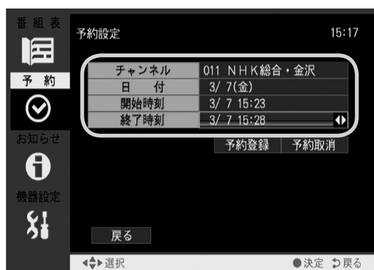
予約画面

3 予約がないところを選びます。



予約一覧

4 予約に関する項目を設定します。



予約設定画面



5 ［予約登録］を選びます。



予約設定画面

視聴予約ができました。
予約の内容は、メニューの［予約］→［予約一覧］で確認できます。

予約時刻 15 秒前に「まもなく予約番組を開始します」とメッセージが表示されます。

はじめに
使ってみよう
設定する
困ったときには
付録

データ放送・双方向サービスについて

本製品は、データ放送・双方向サービスには対応しておりません。

設定する

こんなときは…

お知らせを見る（メール、カード情報、機器情報）

［メニュー］の［お知らせ］をご覧ください。（44ページ）

ソフトウェア（ファームウェア）を更新する

●自動で更新する（初期値）

メニューの［機器設定］→［その他設定］で、「自動更新」を［自動］に設定する事で、ソフトウェアが自動的に更新されます。

●手動で更新する

［お知らせ］の［メール］でソフトウェア更新の案内が来た場合、そのメール上で［ダウンロードする］を決定することで更新できます。

●パソコンにつないで更新する

パソコンとUSBケーブル（別途用意）でつなぐことにより、弊社サポートライブラリからダウンロードした更新プログラムによるアップデートが可能です。詳しくは、更新プログラムの説明をご覧ください。

サポートライブラリ　　http://www.iodata.jp/lib/

ソフトウェアの自動更新について

ソフトウェアの更新には、約10分掛かります。また、更新するには、以下の条件を満たす必要があります。

・視聴予約が設定されていない
・B-CASカードがセットされている
・NHK総合、NHK教育を受信できる
・アンテナと正しくつながっている
・電源状態が［待機］になっている

ソフトウェア更新中のご注意

・ソフトウェア更新中は、電源コンセントから抜かないでください。
　ソフトウェアの更新が中断され、本製品が故障する原因となります。
・ソフトウェアの更新中は、本製品を操作できません。

設定を初期化する

メニューの［機器設定］→［設定リセット］を選びます。

メニューと設定

本製品のメニューについて説明します。

メニューを開く

[メニュー] ボタンを押します。



メニュー画面の説明



番組表（４２ページ）



予約（４３ページ）



お知らせ（４４ページ）



機器設定（４５ページ）



番組表

項目	説明
現在放送中の番組	現在番組を表示します。 【番組表を見る】（２８ページ）をご覧ください。
週間番組	番組表を表示します。 【番組表を見る】（２８ページ）をご覧ください。



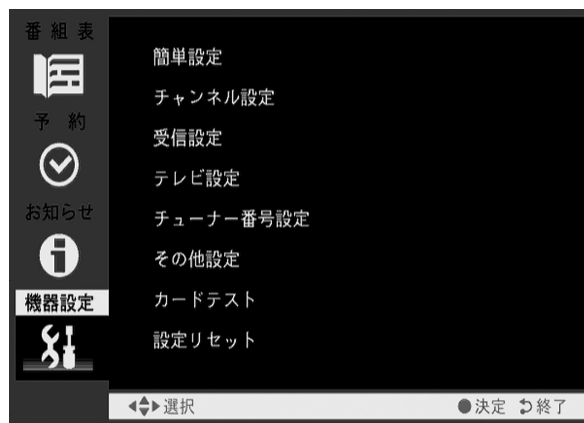
予約

項目	説明
予約一覧	予約一覧を表示します。 予約の確認と新規の予約を行えます。 予約一覧での予約方法は【番組表で視聴予約する】（３３ページ）をご覧ください。



お知らせ

項目	説明
メール	予約失敗やソフトウェア更新のお知らせを見ることができます。
カード情報	B-CAS カードの情報を表示します。
機器情報	本製品のソフトウェアバージョンを表示します。



機器設定

項目	説明
簡単設定	本製品の設定を簡単に行えます。 【本製品を初期設定する】（２０ページ）をご覧ください。
チャンネル設定	受信するチャンネルを設定します。
受信設定	アンテナの調整をします。 【アンテナを調整する】（５２ページ）をご覧ください。
テレビ設定	画面サイズや出力について設定します。
チューナー番号設定	本製品を複数台使うときの設定ができます。 【複数台を使うための設定】（２３ページ）をご覧ください。
その他設定	本製品のソフトウェアの自動更新、字幕、文字スーパーについて設定します。
カードテスト	B-CAS カードのテストを行います。
設定リセット	設定内容を消去します。 設定項目消去：全て初期設定に戻します。 メール消去：メール情報だけを消去します。

MEMO

困ったときには

本製品を使っていて問題が起きたときは、まずこちらをご覧ください。
想定される問題と、解決方法が記載されています。

電源が入らない

・AC アダプターが、本製品と電源コンセントに正しくつながっていますか？

操作できない

・内部のソフトウェアを更新中ではないですか？
本製品の正面ランプがオレンジ色に点滅していないか確認してください。
・AC アダプターが、本製品と電源コンセントに正しくつながっていますか？
・AC アダプターを電源コンセントから抜き差ししてください。
・リモコンのチューナー番号は正しいですか？
操作するチューナーの番号にあった、リモコンのチューナーボタンを２秒以上押してください。
１台だけお使いの場合は、「１」を２秒以上押してください。
・リモコンの電池は問題ないですか？
消耗していそうなら、新しい電池と交換してください。
交換の際は、＋と－の向きに気を付けてください。
・リモコンの上部 (信号送信部) を本製品正面に向けて操作をお試しください。
また、本製品の側まで近づいて操作をお試しください。

視聴できるはずの放送局が登録されない

・アンテナは正しくつながっていますか？
・アンテナの向きは正しいですか？（５２ページ）
・アンテナは UHF アンテナですか？ VHF アンテナのみの場合、地上デジタル放送は受信できません。
・ケーブルテレビの場合、受信できるチャンネル、受信できないチャンネルがあります。詳しくは、ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

番組を視聴できない

・アンテナは正しくつながっていますか？
・アンテナの向きは正しいですか？（５２ページ）
・チャンネルの設定はされていますか？
メニューの機器設定（４５ページ）にあるチャンネル設定を行ってください。
・B-CAS カードは正しくセットされていますか？

テレビの映りが悪い

・アンテナは正しくつながっていますか？
・アンテナの向きは正しいですか？（５２ページ）
・チャンネルの設定はされていますか？
　メニューの機器設定（４５ページ）にあるチャンネル設定を行ってください。
・アンテナは地上デジタル放送用ですか？

ワンセグ放送は受信できるのに、本製品は受信できない

地上デジタル放送は、ワンセグ放送に比べて感度が下がります。

番組表に番組が表示されない

番組情報の取得に時間が掛かっています。
しばらくお待ちください。

電源状態を［待機］にしているのに、暖かい

故障ではありません。番組表の情報取得やソフトウェア更新などの処理のために、待機時に動作していることがあります。結果、本製品が暖かくなることがあります。

予約に失敗した

・降雨（雪）、停電などはありませんでしたか？
　それらが原因で予約を実行できなかった可能性があります。
・放送開始時間が変更されていませんか？
　約３時間以上の変更があった場合は、予約が取り消されることがあります。
・録画機器での録画をしていましたか？
　録画機器側の予約設定は正しかったか確認してください。
　また、録画機器が録画追従に対応していないため、失敗した可能性があります。

画面が縦長や横長に表示される

・お使いのテレビと設定が合っていません。
　メニューの［テレビ設定］にある［画面サイズ］を正しく設定してください。

チャンネルを切り換えられない

電源状態を一度［待機］にし、また［入］にしてみてください。

操作の反応が遅い

故障ではありません。
地上デジタル放送では、処理の関係上、チャンネルの切り換えや電源を入れるのに時間が掛かります。

「ダウンロード実行中」と表示された

ソフトウェアの更新が行われています。
更新が完了するまで､約 10 分掛かります。そのまま電源を切らずにお待ちください。

画面サイズを切り換えても、黒い部分が残る

●テレビにつないでいる場合

シネマサイズなどの一部の番組では、完全に画面いっぱいに表示されないことがあります。

●ディスプレイにつないでいる場合

・アナログ RGB ワイドディスプレイにつないでいる場合、ディスプレイ側の設定をフルスクリーン表示にすることで解消されることがあります。
・4:3 ディスプレイにつないでいる場合は仕様となります。ご了承ください。

画面が乱れて、番組が見られない

D 端子でテレビとつないでいる場合、お使いのテレビで対応できない画面モードに設定している可能性があります。
お使いのテレビで対応できるようにメニューの［機器設定］－［テレビ設定］でD 端子設定を行ってください。

カードテストで「接続に失敗しました」と表示された

・B-CAS カードは奥までしっかり入っていますか？
・入っているカードは、正しいですか？
　添付の B-CAS カードが入っているかを確認してください。
・B-CAS カードの向きは正しいですか？

エラーメッセージが表示された

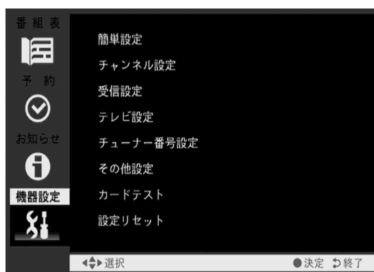
【エラー表示一覧】（５７ページ）をご覧ください。

アンテナを調整する

1 ［メニュー］ボタンを押します。



2 ［機器設定］→［受信設定］の順に選びます。



3 アンテナレベルが一番高くなるようにアンテナの向きを調整します。

アンテナレベルは 55 以上になるようにしてください。



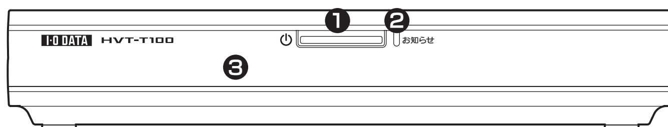
画面を見られない場合

［ビープ音］にチェックを付けると、音でアンテナレベルを判断できるようになります。
アンテナレベルが高いほど、高い音が鳴ります。

付録

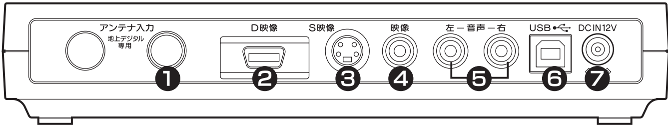
各部の名称

■ 前面パネル



❶ 電源ボタン 電源ランプ	押すと、電源状態を［入］⇔［待機］に切り換えます。 電源状態、予約状況を表します。	
	消灯：	電源コンセントにつながっていません。
	青：	電源が入っています。
	赤：	待機状態です。
❷ お知らせランプ	お知らせ情報の有無を表します。	
	消灯：	お知らせ情報はありません。
	オレンジ：	お知らせ情報があります。
	オレンジ点滅：	ファームウェアのダウンロード･更新中です。 この状態の時は、本製品を電源コンセントから抜かないでください。 電源コンセントから抜くと、本製品が故障する原因となります。 また、この状態の時は、操作を行えません。ご注意ください。
❸ リモコン受光部	リモコン操作は、ここに向けて行ってください。	

■ 背面パネル

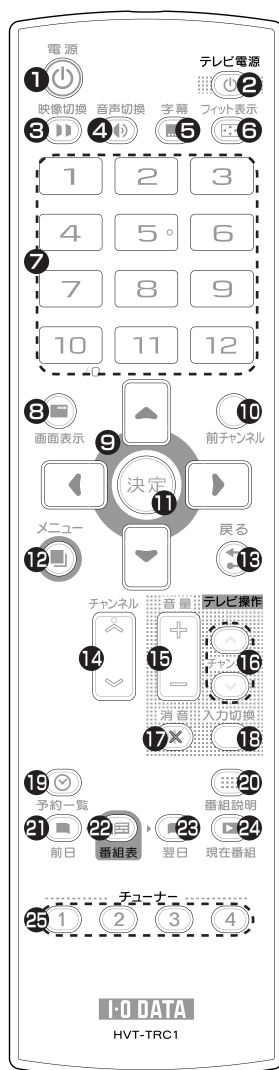


❶ アンテナ入力	地上波アンテナとアンテナケーブル（別途用意）でつなぎます。
❷ D 映像出力	テレビや映像機器と D 端子ケーブル（別途用意）でつなぎます。 ●弊社製『ディスプレイ出力変換ケーブル MA-D2A』（別途用意）を使うと、パソコン用ディスプレイにつなげられます。
❸ S 映像出力	テレビや映像機器と S ビデオケーブル（別途用意）でつなぎます。
❹ 映像出力	テレビや映像機器と AV ケーブル（添付）でつなぎます。
❺ 音声出力	テレビや映像機器と AV ケーブル（添付）でつなぎます。
❻ USB ポート	パソコンとつなぎます。本製品内部のソフトウェアを更新できます。 ※ USB ケーブルは別途ご用意ください。
❼ AC 電源端子	電源コンセントと AC アダプター（添付）でつなぎます。

映像出力について

背面の映像出力は同時に出力されています。

■ リモコン



ボタン名	説明
❶ 電源	電源状態を「入」⇔「待機」に切り換えます。（２６ページ）
❷ テレビ電源	お使いのテレビの電源を入／切します。
❸ 映像切換	マルチビュー番組で映像を切り換えます。（３１ページ）
❹ 音声切換	音声を切り換えます。（３２ページ）
❺ 字幕	字幕を表示 / 非表示します。（３１ページ）
❻ フィット表示	画面全体にフィットするように映像を表示します。（３２ページ）
❼ １～１２	チャンネルを切り換えます。（２７ページ）
❽ 画面表示	番組タイトル、チャンネルの表示を切り換えます。（３１ページ）
❾ カーソル	メニューの項目を選びます。
❿ 決定	カーソルで選んだ項目を決定します。
⓫ 前チャンネル	1つ前に視聴していたチャンネルに切り換えます。
⓬ メニュー	メニューを開きます。（３９ページ）
⓭ 戻る	メニューで１つ前の項目に戻ります。 メニューのトップで押すと、メニューを閉じます。
⓮ チャンネル	チャンネルを切り換えます。（２７ページ）
⓯ 音量（テレビ）	お使いのテレビの音量を調整します。
⓰ チャンネル（テレビ）	お使いのテレビのチャンネルを切り換えます。
⓱ 消音（テレビ）	お使いのテレビを消音します。
⓲ 入力切換（テレビ）	お使いのテレビの入力を切り換えます。
⓳ 予約一覧	予約一覧を表示します。
⓴ 番組説明	番組情報を表示します。（３０ページ）
㉑ 前日	前日の番組表に移動します。
㉒ 番組表	番組表を表示します。（２８ページ）
㉓ 翌日	翌日の番組表に移動します。
㉔ 現在番組	「現在番組」を表示します。（２８ページ）
㉕ チューナー	本製品を複数台操作する際に、操作する本製品を切り換えます。（２３ページ）

エラー表示一覧

本製品で表示されるエラー表示について説明します。

エラー表示	原因	対処
信号レベルが低下しています	・受信レベルが低下している。	・しばらくお待ちください。受信レベルが一時的に低下している場合は、これで解決します。 ・常時表示される場合は、受信レベルが低いことが考えられます。アンテナ線のつなぎ方や受信状態をご確認後、アンテナ設置業者等にご相談ください。
信号を受信できません	・適合したアンテナでない。 ・雨、雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 ・アンテナ線が外れたり、切れたりしている。 ・アンテナの設定値があっていない。 ・アンテナの方向ずれや故障。	・デジタル放送に適合したアンテナであることをご確認ください。 ・雨、雷、雪などの気象条件がないかご確認ください。 ・アンテナ線のつなぎ方や受信状態をご確認後、アンテナ設置業者等にご相談ください。 ※放送が休止中の場合もこのエラーが表示されることがあります。
現在放送されていません	・選局したチャンネルで放送が休止中・終了。 ・雨、雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。	・番組表などで放送時間をご確認ください。 ・雨、雷、雪などの気象条件がないかご確認ください。
このチャンネルはありません	・割り当てられていないチャンネルを選局した。	・表示できるチャンネルを選局してください。
B-CAS カードを正しくセットしてください	・B-CAS カードがセットされていないか、正しくセットされていない。	・B-CAS カードを抜き、向きを確認して、奥までしっかりと差し込んでください。

エラー表示一覧（続き）

エラー表示	原因	対処
B-CAS カードに不具合があります。カスタマーセンターにお問い合わせください。	・使えない B-CAS カードをセットしている。	・添付の B-CAS カードをセットしてください。
ご利用できない B-CAS カードです。カスタマーセンターにお問い合わせください。	・使えない B-CAS カードをセットしている。	・添付の B-CAS カードをセットしてください。
B-CAS カードではありません。	・B-CAS カード以外をセットしている。	・添付の B-CAS カードをセットしてください。

チャンネル一覧表

「簡単設定」（２０ページ）で地域を選ぶと、下の表のように設定されます。
ただし、他の地域の放送を受信した場合は、異なる設定になる場合があります。

（2007 年 12 月現在）

お住まいの地域	北海道（札幌）		北海道（函館）		北海道（旭川）		北海道（帯広）		北海道（釧路）	
放送局名	1	HBC札幌	1	HBC函館	1	HBC旭川	1	HBC帯広	1	HBC釧路
	2	NHK教育・札幌	2	NHK教育・函館	2	NHK教育・旭川	2	NHK教育・帯広	2	NHK教育・釧路
	3	NHK総合・札幌	3	NHK総合・函館	3	NHK総合・旭川	3	NHK総合・帯広	3	NHK総合・釧路
	5	STV札幌	5	STV函館	5	STV旭川	5	STV帯広	5	STV釧路
	6	HTB札幌	6	HTB函館	6	HTB旭川	6	HTB帯広	6	HTB釧路
	7	TVH札幌	7	TVH函館	7	TVH旭川	7	TVH帯広	7	TVH釧路
	8	UHB札幌	8	UHB函館	8	UHB旭川	8	UHB帯広	8	UHB釧路

お住まいの地域	北海道（北見）		北海道（室蘭）		宮城		秋田		山形	
放送局名	1	HBC北見	1	HBC室蘭	1	TBCテレビ	1	NHK総合・秋田	1	NHK総合・山形
	2	NHK教育・北見	2	NHK教育・室蘭	2	NHK教育・仙台	2	NHK教育・秋田	2	NHK教育・山形
	3	NHK総合・北見	3	NHK総合・室蘭	3	NHK総合・仙台	4	ABS秋田放送	4	YBC山形放送
	5	STV北見	5	STV室蘭	4	ミヤギテレビ	5	AAB秋田朝日放送	5	YTS山形テレビ
	6	HTB北見	6	HTB室蘭	5	KHB東日本放送	8	AKT秋田テレビ	6	テレビユー山形
	7	TVH北見	7	TVH室蘭	8	仙台放送			8	さくらんぼテレビ
	8	UHB北見	8	UHB室蘭						

お住まいの地域	岩手		福島		青森		東京		神奈川	
放送局名	1	NHK総合・盛岡	1	NHK総合・福島	1	RAB青森放送	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・盛岡	2	NHK教育・福島	2	NHK教育・青森	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京
	4	テレビ岩手	4	福島中央テレビ	3	NHK総合・青森	4	日本テレビ	3	tvk
	5	岩手朝日テレビ	5	KFB福島放送	5	青森朝日放送	5	テレビ朝日	4	日本テレビ
	6	IBCテレビ	6	テレビユー福島	6	ATV青森テレビ	6	TBS	5	テレビ朝日
	8	めんこいテレビ	8	福島テレビ			7	テレビ東京	6	TBS
							8	フジテレビジョン	7	テレビ東京
							9	東京MXテレビ	8	フジテレビジョン
							12	放送大学	12	放送大学

チャンネル一覧表（続き）

お住まいの地域	群馬		茨城		千葉		栃木		埼玉	
放送局名	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・水戸	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京
	3	群馬テレビ	4	日本テレビ	3	ちばテレビ	3	とちぎテレビ	3	テレビ埼玉
	4	日本テレビ	5	テレビ朝日	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日	6	TBS	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日
	6	TBS	7	テレビ東京	6	TBS	6	TBS	6	TBS
	7	テレビ東京	8	フジテレビジョン	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン	12	放送大学	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン
	12	放送大学			12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学

お住まいの地域	長野		新潟		山梨		大阪		京都	
放送局名	1	NHK総合・長野	1	NHK総合・新潟	1	NHK総合・甲府	1	NHK総合・大阪	1	NHK総合・京都
	2	NHK教育・長野	2	NHK教育・新潟	2	NHK教育・甲府	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・大阪
	4	テレビ信州	4	TeNYテレビ新潟	4	YBS山梨放送	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送
	5	ABN長野朝日放送	5	新潟テレビ21	6	UTY	6	ABCテレビ	5	KBS京都
	6	SBC信越放送	6	BSN			7	テレビ大阪	6	ABCテレビ
	8	NBS長野放送	8	NST			8	関西テレビ	8	関西テレビ
							10	よみうりテレビ	10	よみうりテレビ

お住まいの地域	兵庫		和歌山		奈良		滋賀		広島	
放送局名	1	NHK総合・神戸	1	NHK総合・和歌山	1	NHK総合・奈良	1	NHK総合・大津	1	NHK総合・広島
	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・広島
	3	サンテレビ	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送	3	BBCびわ湖放送	3	RCCテレビ
	4	MBS毎日放送	5	テレビ和歌山	6	ABCテレビ	4	MBS毎日放送	4	広島テレビ
	6	ABCテレビ	6	ABCテレビ	8	関西テレビ	6	ABCテレビ	5	広島ホームテレビ
	8	関西テレビ	8	関西テレビ	9	奈良テレビ	8	関西テレビ	8	TSS
	10	よみうりテレビ	10	よみうりテレビ	10	よみうりテレビ	10	よみうりテレビ		

お住まいの地域	岡山		香川		島根		鳥取		山口	
放送局名	1	NHK総合・岡山	1	NHK総合・高松	1	日本海テレビ	1	日本海テレビ	1	NHK総合・山口
	2	NHK教育・岡山	2	NHK教育・高松	2	NHK教育・松江	2	NHK教育・鳥取	2	NHK教育・山口
	4	RNC西日本テレビ	4	RNC西日本テレビ	3	NHK総合・松江	3	NHK総合・鳥取	3	TYSテレビ山口
	5	KSB瀬戸内海放送	5	KSB瀬戸内海放送	6	BSSテレビ	6	BSSテレビ	4	KRY山口放送
	6	RSKテレビ	6	RSKテレビ	8	山陰中央テレビ	8	山陰中央テレビ	5	YAB山口朝日
	7	テレビせとうち	7	テレビせとうち						
	8	OHKテレビ	8	OHKテレビ						

お住まいの地域	愛知		三重		岐阜		石川		静岡	
放送局名	1	東海テレビ	1	東海テレビ	1	東海テレビ	1	NHK総合・金沢	1	NHK総合・静岡
	2	NHK教育・名古屋	2	NHK教育・名古屋	2	NHK教育・名古屋	2	NHK教育・金沢	2	NHK教育・静岡
	3	NHK総合・名古屋	3	NHK総合・津	3	NHK総合・岐阜	4	テレビ金沢	4	静岡第一テレビ
	4	中京テレビ	4	中京テレビ	4	中京テレビ	5	北陸朝日放送	5	静岡朝日テレビ
	5	CBC	5	CBC	5	CBC	6	MRO	6	SBS
	6	メ～テレ	6	メ～テレ	6	メ～テレ	8	石川テレビ	8	テレビ静岡
	10	テレビ愛知	7	三重テレビ	8	岐阜テレビ				

お住まいの地域	福井		富山		愛媛		徳島		高知	
放送局名	1	NHK総合・福井	1	KNB北日本放送	1	NHK総合・松山	1	四国放送	1	NHK総合・高知
	2	NHK教育・福井	2	NHK教育・富山	2	NHK教育・松山	2	NHK教育・徳島	2	NHK教育・高知
	7	FBCテレビ	3	NHK総合・富山	4	南海放送	3	NHK総合・徳島	4	高知放送
	8	福井テレビ	6	チューリップテレビ	5	愛媛朝日			6	テレビ高知
			8	BBT富山テレビ	6	あいテレビ			8	さんさんテレビ
					8	テレビ愛媛				

チャンネル一覧表（続き）

お住まいの地域	福岡		熊本		長崎		鹿児島		宮崎	
放送局名	1	KBC九州朝日放送	1	NHK総合・熊本	1	NHK総合・長崎	1	MBC南日本放送	1	NHK総合・宮崎
	2	NHK教育・福岡	2	NHK教育・熊本	2	NHK教育・長崎	2	NHK教育・鹿児島	2	NHK教育・宮崎
	2	NHK教育・北九州	3	RKK熊本放送	3	NBC長崎放送	3	NHK総合・鹿児島	3	UMKテレビ宮崎
	3	NHK総合・福岡	4	KKTくまもと県民	4	NIB長崎国際テレビ	4	KYT鹿児島讀賣テレビ	6	MRT宮崎放送
	3	NHK総合・北九州	5	KAB熊本朝日放送	5	NCC長崎文化放送	5	KKB鹿児島放送		
	4	RKB毎日放送	8	TKUテレビ熊本	8	KTNテレビ長崎	8	KTS鹿児島テレビ		
	5	FBS福岡放送								
	7	TVQ九州放送								
	8	TNCテレビ西日本								

お住まいの地域	大分		佐賀		沖縄	
放送局名	1	NHK総合・大分	1	NHK総合・佐賀	1	NHK総合・那覇
	2	NHK教育・大分	2	NHK教育・佐賀	2	NHK教育・那覇
	3	OBS大分放送	3	STSサガテレビ	3	RBCテレビ
	4	TOSテレビ大分			5	QAB琉球朝日放送
	5	OAB大分朝日放送			8	沖縄テレビ(OTV)

製品仕様

放送波	地上デジタル放送
受信方式	地上デジタル放送方式（日本方式）
受信周波数	90M～770MHz
受信チャンネル	地上デジタル　VHF 1ch～12ch UHF 13ch～62ch CATV　C13ch～C63ch
アンテナ入力端子	75Ω　Fタイプコネクター
視聴可能番組	無料番組　※データ放送は視聴できません
番組説明	視聴可能番組に対する番組説明
電子番組表 (EPG)	現在番組表、週間番組表
番組予約	EPGによる視聴予約、時刻指定による視聴予約、予約一覧表示
対応動作モード	メール機能、カード情報
接続端子	■アンテナ入力端子（地上デジタル専用） ■映像出力端子　■D映像出力端子 ■音声出力端子(右/左)　■S1/S2映像出力端子 ■USBポート（Bコネクター：PC接続用）
電源	AC100V　50/60Hz（添付ACアダプター使用） 本体DC12V
消費電力	電源オン：9W　電源待機：1W以下
使用温度範囲	5～35℃
使用湿度範囲	20～80%（結露がないこと）
外形寸法	196(W) × 116(D) × 37(H) mm （突起部含まず）
質量	約298g （本体のみ）

はじめに
使ってみよう
設定する
困ったときには
付録

お問い合わせ

ここでは、弊社のサポートセンターと修理センターへのお問い合わせについてご案内します。

■ サポートセンターへのお問い合わせ

1 【困ったときには】をご覧ください。

良くある問題の解決法が記載されています。

⇒【困ったときには】（47ページ）

2 Web ページをご覧ください。

サポートセンターに寄せられたお問い合わせから作られた解決法が記載されています。

http://www.iodata.jp/support/

3 それでも解決しないときは

サポートセンターにお問い合わせください。

住所 〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター

電話 本社 **076-260-3646**　東京 **03-3254-1036**

※受付時間 9:00 ～ 17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

FAX 本社 **076-260-3360**　東京 **03-3254-9055**

インターネット

http://www.iodata.jp/support/

お知らせいただく事項

・お使いの弊社製品名
・トラブルの起こった状態、トラブルの内容、現在の状態。
（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

個人情報の取り扱い

ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービスおよび顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

■ 修理センターへのお問い合わせ

ご依頼前に

●**修理金額**

・保証期間中（ハードウェア保証書で確認できます）

無料修理いたします。

※ ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。

・保証期間が終了している

有料で修理いたします。

※ 弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

- 有料修理と判定した場合

往復はがきにて修理金額をご案内いたします。修理をご依頼いただけるかご判断の上、検討結果をご返送ください。修理をご依頼いただかない場合は、無料でご返送いたします。

※ FAX 番号をお知らせいただいた場合は、修理金額を FAX でご連絡差し上げます。

準備

●**メモに控え、手元に保管する**

・お送りいただく製品名　・お送りいただく日時

・シリアル番号（製品に貼付されたシールに印字）

●**梱包する**

以下を厳重に梱包してください。※ご購入時の箱・梱包材をお使いいただくのが最善です。

・ご依頼いただく製品

・必要事項を記入したハードウェア保証書

・下の情報が記入された紙

返送先（住所 / 氏名 /FAX 番号）、日中にご連絡できる電話番号、ご使用環境（機器構成、OS など）。故障状況（どうなったか）

送付

〒 920-8513

石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地　アイ・オー・データ第 2 ビル

株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター

※ 原則として、修理品は弊社への持ち込みが前提です。発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

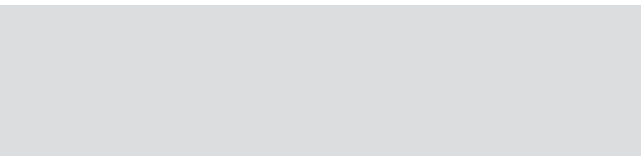
※ 紛失などを避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

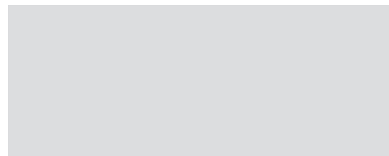
返送

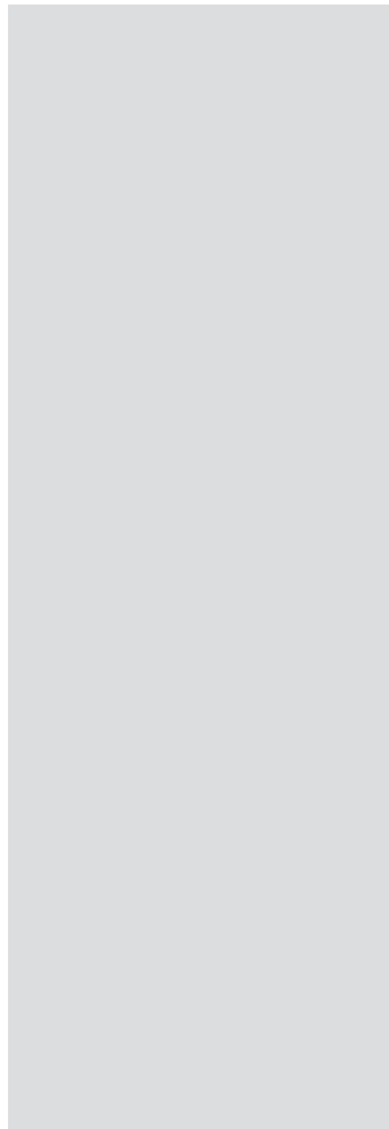
修理品到着後、通常約 1 週間ほどで弊社より返送できます。

※ ただし、有料の場合や修理内容によっては、時間が掛かる場合があります。

MEMO







MEMO

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。
6) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

● 一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

地球環境を守るため、再生紙を使用しています。



この取扱説明書はアメリカの大豆協会認定の環境に優しい大豆油インキを使用しています。

2008/03/28 発行